

科目	情報処理 (Information Processing)		
担当教員	小林 洋二, 朝倉 義裕		
対象学年等	機械工学科・2年A組・前期・必修・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	-	JABEE基準1(1) -
授業の概要と方針	情報処理における重要な技術であるプログラミングの講義と演習をプログラム言語FORTRANを用いて行う。授業では、授業計画にある各項目について文法および問題解決の処理手順(アルゴリズム)の解説を行い、課題演習を通してプログラムを作成し、問題を解決する手順を実習する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	プログラムの作成から、コーディング、デバッグ、コンパイル、実行までの手順を理解し、習得する。		演習課題を解答する際に、プログラムの作成、コーディング、デバッグ、実行の手順が理解できているかを評価する。
2	FORTRANの文法を理解する。		提出された課題レポートの中で、文法が正しく理解されているかを評価する。あわせて、授業時間中に実施する小テストによって、この項目を評価する。
3	問題を解決するための基本的なアルゴリズムを理解し、FORTRANを用いてプログラムを正しく記述することができる。		提出された課題レポートの中で、解法のアルゴリズムが正しく理解されているかを評価する。あわせて、授業時間中に実施する小テストによって、この項目を評価する。
4	与えられた課題に対し、20～30行程度までの簡単なプログラムを作成、コンパイル、実行し、正しい結果を導くことができる。		提出された課題レポートの中で、実行結果が正しく導き出されているかを評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	毎回の授業で課される演習課題に対するプログラムリストと実行結果（メールで提出）を評価（65%）する。あわせて、理解度を確認するために授業中に実施する小テストで評価（35%）する。		
テキスト	自作テキスト（Web上で開示）		
参考書	「FORTRAN 77入門」：浦 昭二 編（培風館） 「FORTRAN 77プログラミング」：原田 賢一 著（サイエンス社）		
関連科目			
履修上の注意事項	1学年の情報基礎で学んだコンピュータの取り扱い、ブラウザやメールの使い方が理解できていることを前提として授業を行います。		

